

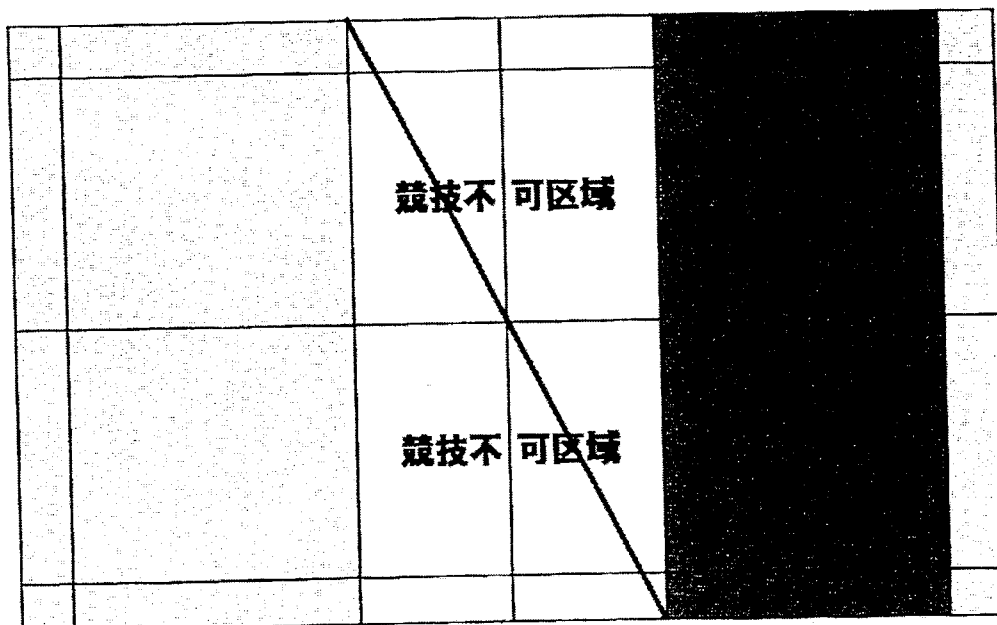
第1回障がい者スポーツ交流大会inあだち開催要項



目的	交流大会を通じて障がいのある方、障がいのない方の相互の交流するきっかけを作るとともに幅広い足立区民への障がい者スポーツへの理解・促進に繋げる。 また今後、身近な地域での障がいのある方々のスポーツ活動の推進のための一助となることを目的とする。
主催	東京都障害者総合スポーツセンター
共催	足立区
協力	足立区スポーツ推進委員会 足立区バドミントン協会 つばさの会 東京都障害者スポーツ指導員協議会 障害者スポーツボランティア人材バンク 王子かぼちャクラブ
後援	(公財)足立区体育協会・日本障害者バドミントン協会(予定)
日時	平成 26年 2月 2日(日)【競技の部:バドミントンの部】10時競技開始(受付 9時30分・開会式9時45分) 【体験の部:バドミントンの部】10時～11時 15～16時 【体験の部:トランボリンの部】10時～16時(デモンストレーション 12時30分開始予定) 【体験の部:レクリエーションの部】10時～15時
会場	足立区総合スポーツセンター 〒121-0063 足立区東保木間2-27-1 03-3859-8211 http://www.kousya.jp/manabi/institution/15sogosports/
参加資格	【競技の部:バドミントン】 ①身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、愛の手帳を所持する中学生以上で、健康上競技可能な者。 ②足立区在住、在学、在勤および区内所属クラブの中学生以上で、健康上競技可能な者。 ③主催者が認めた者。 【体験の部:バドミントン・トランボリン・レクリエーション】 障がいの有無に関わらず、どなたでも参加できる。 ※体験の部は、当日申し込みとします。お気軽にご参加ください。 ※未就学児の方や介助者が必要な方は、保護者および介助者同伴でご参加ください。
競技規則	(公財)日本バドミントン協会競技規則2012-2013ならびに本大会申し合わせ事項を適用する。
競技種目 及び 競技区分	【競技種目】 ダブルス(男女区分なし) 【競技区分】 Aグループ 障がいのない人 … 一般 障がいのある人 … 上級者 Bグループ 障がいのない人 … 初級者または60歳以上の男子・50歳以上の女子 障がいのある人 … 中級者 Cグループ 障がいのある人のみ(但し初心者を除く) Dグループ 車椅子使用者のみ(障がいのない人も参加可) ※A・Bグループについてのペアーは、組み合わせはフリーとする。(例:障がい者と健常者、障がい者と障がい者、健常者と健常者) ※申し込み状況により調整する場合がある。 ※東京都障害者スポーツセンター主催の第24回はばたきバドミントン大会に参加された方は、原則参加できない。
競技方法	15ポイント3ゲームマッチのトーナメント方式により行う。(ラリーポイント制) 但し、申し込み状況により変更することがある。
表彰	各グループとも1位から3位までにメダルを授与する。
体験	【バドミントン】 車椅子を乗ってバドミントンをやってみたい方を対象に「バドミントン体験」を行う。車椅子操作の基礎技術などを楽しみながら体験し、安全に車椅子バドミントンを学ぶ。 【トランボリン】 トランボリンをやってみたい方を対象に「トランボリン体験」を行う。トランボリンの基礎技術などを楽しみながら体験し、安全にトランボリンを学ぶ。 【レクリエーション】 どなたでも、楽しんで頂けるレクリエーションを実施。
参加料	無料
申込方法	申込書に必要事項を記入し、下記へ郵送・FAX、持参で申込むか、またはホームページより申込書をダウンロードし、大会専用メールに添付して申込むこと。 大会専用メールで申込みをした方には確認完了の連絡を一週間以内に返信する。 A・Bグループは必ずダブルスペアで申込むこと。 C・Dグループは原則ダブルスペアでの申込とするが、個人での申込も可とする。
定員	90名(A+B+C+Dグループ)
申込締切	平成25年 12月 15日(日) (必着のこと)
その他	(1) 昼食は各自適宜とすること。 (2) 大会中に生じた事故については、応急処置のみとする。自己の健康管理については充分留意すること。 (3) 事前に健康診断書等を提出して頂く場合もある。 (4) 申込締切後の変更は認めません。 (5) 大会運営上、プログラムには氏名・所属先を記載する。 (6) 収集した情報は、本大会運営に必要な目的以外には使用いたしません。
申込先 問合せ先	〒114-0033 東京都北区十条台1-2-2 東京都障害者総合スポーツセンター TEL 03-3907-5631 FAX 03-3907-5613 ホームページURL http://tokyo-mscd.com/ 大会用メールアドレス 25adachi@tsad.or.jp 第1回障がい者スポーツ交流大会inあだち 担当 佐々木・川上・田中

本大会申し合わせ事項

1. 上肢に不随運動を伴う者のサービスにおいては、競技規則第9条第1項(5)、(6)は厳しく取らない。
 ただし、障害の状況によりルール通りに打てると判断された場合はこの限りではない。
 (5): サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体がサーバーのウエストより下になければならない。ここでいうウエストとは、肋骨の一番下の高さで、胴体の周りの仮想の線とする。
 (6): サーバーが持つラケットのシャフトは、シャトルを打つ瞬間に下向きでなければならない。
2. 杖および車椅子全体等はすべて身体の一部とみなす。
3. 1の適用を受ける者は、申込書に記入すること。
4. Dグループ(車椅子使用者)のサービスにおいては、シャトルが打たれた瞬間シャトル全体が腋の下よりも下になければならない。
5. Dグループ(車椅子使用者)のService area(サービス区域)とCourt area for play(競技区域)は下記(図)のとおりとする。

Court and service court for doubles wheelchair



 ⇨ Court area for play(競技区域)
 ⇨ Service area (サービス区域)

「第1回障がい者スポーツ交流大会 in あだち:バドミントンの部」申込書

ク ラ ブ 名		申込責任者氏名	ふりがな	TEL	住所
				FAX	

競技区分	氏名／ふりがな	性別	年齢	住所	TEL・FAX	該当する障がいに○をつけて下さい (障がいのない方は無記入)	手話通訳	車椅子貸出	競技歴・戦歴	備考
1						視・聴・肢・内・知・精	要・不要	要・不要		
						視・聴・肢・内・知・精	要・不要	要・不要		
2						視・聴・肢・内・知・精	要・不要	要・不要		
						視・聴・肢・内・知・精	要・不要	要・不要		
3						視・聴・肢・内・知・精	要・不要	要・不要		
						視・聴・肢・内・知・精	要・不要	要・不要		
4						視・聴・肢・内・知・精	要・不要	要・不要		
						視・聴・肢・内・知・精	要・不要	要・不要		
5						視・聴・肢・内・知・精	要・不要	要・不要		
						視・聴・肢・内・知・精	要・不要	要・不要		

- ※ 2人1組のペアで申し込むこと。
- ※ 出場競技区分については要項を参考にし、A～Dを記入すること。
- ※ [競技歴・戦歴]の欄には、経験年数・大会名等を記入すること。
- ※ 申し合わせ事項の「競技規則第9条第1項(5)、(6)は厳しく取らない。」を希望する者は、備考欄に「規則第9条希望」と記入すること。
- ※ 収集した情報は、本大会運営に必要な目的以外には使用いたしません。